
◎議案第 33 号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（渡辺文彦君） 日程第 9、議案第 33 号 令和 3 年度松崎町一般会計補正予算（第 3 号）についての件を議題といたします。

議案の朗読は省略して、提出者から提案理由の説明を求めます。

○町長（長嶋精一君） 議案第 33 号 令和 3 年度松崎町一般会計補正予算（第 3 号）についてでございます。

詳細は担当課長より申し上げます。

（総務課長 高橋良延君 説明）

○議長（渡辺文彦君） 以上で提案理由の説明を終わります。

これより質疑に入ります。

質疑を許します。

質疑をする場合、ページ数等を先に示されてお話しをお願いします。

○6 番（高柳孝博君） 6 ページ歳出のところですけども、この 7 款の土木費で財源としまして、その他で 2,000 万てのがあるんですけども、その 2,000 万の内訳はどのようなものでしょうか。

○総務課長（高橋良延君） 6 ページですね。土木費の 2,000 万円の財源につきましては、先ほど説明いたしました、公共施設の整備基金というのがございます。こちらの基金の繰入金 2,000 万円です。

○議長（渡辺文彦君） 他に質疑ございますか。

○5 番（深澤 守君） 9 ページの 2 項の財政調整基金繰入金の 1,774 万円の件なんです。これ昨年度の 3 月に国からもらったのの使えない部分を積み立てた部分の金額で足りてる金額という認識でよろしいでしょうか。

○総務課長（高橋良延君） 財調の関係ですけども、今回の補正予算でコロナの対策事業については 8,440 万円計上させていただきました。この財源としてコロナの交付金 7,500 万円を当てされさせていただいたところです。この交付金 7,500 万円については、昨年国からすべて交付金の配分がありました。これをすべて使って、予算措置した金額ということで、これが最後 7,500 万円ということですが、しかしあの今後、コロナの対策の事業をやっていって、当然予算との差が出てきますね・・・事業

費の差が出てきます。これを最終的に今後の補正予算で財源補正をいたしまして、最終的に財調の基金の繰り入れ金を減額をして参りたいというようなことで考えておりますので、今後コロナの対策事業の状況・進捗状況によりまして、当然この不用額のところについては、財調の繰入金の所は減ってくるという形になりますので、そういった措置をして参ります。

○議長（渡辺文彦君） 他に・・・。

○1番（田中道源君） 15ページですね、緊急経済対策プレミアム商品券事業についてちょっと・・・関連質問って形になりますけども、ちょっと質問させていただきます。先月ですね、商工会の総会に行った際に、新しく就任された関会長が町長にですねお願いがあるという風におっしゃってました。それが商工会・・・商工業者の経営力であったり、そういった力を高めるために教育にお金を使いたいから、視察に行ったりですね、講演を開いたりするための予算として1,000万、町の方につけてほしいよという挨拶されてたんですよ。その後に町長が登壇されて祝辞の機会があってですね、そこで町長がおっしゃってたのが、この6月議会でプレミアム商品券の予算を上程する。それがとおった暁には、ちゃんとお金が降りてきますので安心してください・・・みたいな回答されたと思うんですけど。私ちょっと聞いててですね、ちぐはぐだなっていう風に思いました、商工会の会長が期待してお願いしたのはプレミアム商品券の予算ではなくて、経営力とかを高めるための講演であったり視察したりするための1,000万円予算つけて欲しいって話だったと思うんですけど、町長の認識としては、当時のことどういう風に認識されているのか確認させていただいてよろしいですか。

○町長（長嶋精一君） ちぐはぐだなっていうことは、ちょっと意味が分かりませんがね。あの・・・えっと・・・私はプレミアム商品券をやりますよということを使ったわけですよ。町内の・・・地域内の地域循環のためにね、やるよといった訳です。それと、新しい商工会の会長が言ったことと、それに応じてこれを言う、これに応じてこれを言うって事では無かったんですね。私の方は、最初からプレミアム商品券を・・・その商工会の会長のね・・・あの・・・あの・・・新人っていうんですか、その挨拶の時の話は全くその私と打ち合わせしておりませんので、それに対してこう言うよ、こう言うよって話は全く無かったですからね、ちぐはぐって事は全く無くて、お互いが自分の意見を主張したという風に解釈しています。

○1番（田中道源君） もちろんあの片や商工会長の挨拶で言ってることであり、その後の祝辞という・・・こういうですね、質疑応答っていう形ではなかったもので、打ち合わせもなくでいいとは思いますが、商工会の会長がお願いしてたことをちゃんと受け止めて・・・正しく受け止めてもらえてないような感じがしたものですから、今確認をさせて頂いた訳です。では、商工会の会長としては、このプレミアム商品券のことをお願いしてたのではなくてですね、町の経営者の方々の経営力を高めるための講演であったり視察っていうものを企画したいから、その予算をお願いしたよっていうのに対して、その後の祝辞の際に言ってた言葉が、プレミアム商品券の予算が6月議会にとおれば出しますから、安心して下さいって答弁・・・答弁じゃなくて祝辞だったものですから、正しく意図を理解されてないまま言ってるんじゃないかと思ったまでで、今この、私がこの話をしたことによってですね、商工会長の意図ってものを理解していただければ、それでいいんですけども、商工会長の会長が言ってた・・・商工会の会長が言ってた町の経営者の方々の経営力を高めるために、講演会や視察をするための予算つけて欲しいってあんとき言ってたんですけど、それは分かっていただけかもしれませんか。今、今の話の中で・・・分かっていただけでしたか。

○町長（長嶋精一君） えっと・・・あの時も分かってましたよ。田中議員に言われなくても分かってました。だから、今後どうするかっていうことについては、またこれからね検討いたしますけれども・・・、そういう講演会をやったりね視察をしたりということの主旨というのはよく分かっておりました。

○1番（田中道源君） はい、分かりました。あのちょっと、私の方が聞いてて、もしかしたらちゃんと伝わってないのかなって危惧したものですから、あえてここでちょっと確認させていただいたんですけども、町長の方はしっかり分かってるって事だったものですから、おそらく返答を向こうもですね、待ってると思いますので検討していただいて、その1,000万予算をつけて欲しいっていうお話だったと思うんですけどもその回答をですねしてあげていただけたあらなあと思います。別の場所で、ヨクミの方々からは陳情行ったんだけどまだ返答きてないよなんて言葉もあったりしましたので、是非ですね、そのまんまほったらかしにすること無く、しかるべき、無理なら無理、検討した結果こうだったよっていうような返答ってものを返してあげていただけたらなと思います。以上です。

○議長（渡辺文彦君） 答弁は良いですよ。

（○1番（田中道源君） そうですね、はい。）

○議長（渡辺文彦君） ほかに質疑ございますか。

○7番（藤井 要君） 今田中議員が言っていたその場にですね、町会議員の方も数名いらっしやいました。その中でですね、あの・・・宿泊関係の会長さんもきてまして、町長のところにですね、宿泊特別にいてくださいよと言ったけれど、まだ町長から返事がないと、でその時にですね、商工会の方から商工会を通して、宿泊の関係、会長のところに連絡入れるということになってましたので・・・補正予算の関係ですのですね町長にその答弁を聞きたいのと、そして田中議員が先ほど言いましたように、新会長が1,000万円くらい欲しいよと・・・そのくらいを入れないとなかなか回ってかないよと、元気になるには**ことですが・・・、町長今十分理解してますよということですが、それでは、1,000万くらい出すつもりなんですか。そこをお聞きしたいと思います。

○町長（長嶋精一君） 十分理解をしているということでございます。検討してね、実行して・・・いくら実行するかっていうことは、検討してから決めていきたいと思えます。そして、講演会とかなんとかってというのはどうしてもすぐに景気回復とか、それに結びつかないものなんです・・・遅効性があるというかね・・・。ところが、プレミアム商品券ってのは、もう一気にですねその商品が回りますから、これについては、やはり我々としては商工会に対してもね、非常にメリットがあるという風に考えております。以上でございます。

○7番（藤井 要君） ま、町長がね十分検討してこれから、その商工会長が言った1,000万円に対してはいろいろ検討するよということで、ま、今日商工会長が聞いているか聞いてないか、それは分かりませんが、それがまた耳に入っていくと思いますので、ご配慮お願いしたいと。そして、今もう一点観光施設の宿泊関係、非常に困っているよと・・・その回答はもう出しました。まだ保留中ですか。出したですか。これ予算には反映されてないですよ。その点町長どうですか。出すと言ったんですから・・・商工会との関係と、その会長の関係。

○町長（長嶋精一君） 出すというかそういうことじゃなくてね、こうして欲しいということの依頼がございました。したがって、明日、明後日会長の豊崎さんですか、の

ところに行ってお話をしたいと思っています。

○7番（藤井 要君） 明日、明後日、しっかりと町のために・・・町長いろいろ予算の関係頭を悩ます所でしょうけれども頑張ってやってください。以上です。

○5番（深澤 守君） 11ページの土木の公共交通活性化推進事業のことでお伺いいたします。システム的なことを伺いたいんですが、これキャッシュレスやるということとはこれ・・・例えば携帯電話等のものが使えるのか、それから、これをやることによって定期券みたいなものも含まれるのか。そして、このキャッシュレスのカードは、これ専用で無きゃ使えないのか、Suicaとかその他の交通機関のものも使えるのか、その辺をお伺いいたします。

○企画観光課長（深澤準弥君） 今のご質問の回答ですけれども、交通系のICカードで、いわゆるSuicaとかそういう系列のものを考えているということでお答えいただいております。定期券につきましては、基本的には今までと同様に定期を買っていただいて見せる形になります。ICカードにはならないということでしたので、交通系のICカードでやるのと定期はそのまま・・・、今まで通りでやるということです。

（○5番（深澤 守君） 携帯は使えないの。）

携帯は・・・、その携帯のSuicaとかっていうのがあると思うんですけれども、今のところは、カードで考えてると言う事で伺ってます。

○5番（深澤 守君） できれば、地元の人が使う分なら問題ないと思うんですけど、東京だとか他の人たちが来るときには意外とそういう部分って言うのは、利用頻度って多くなっておりますので、これ導入した後でもいいんでその観光客等の人たちの利便性も考えていただけるように指導していただければと思います。こちらの方は回答は結構です。

○企画観光課長（深澤準弥君） 公共交通の関係は特にいろいろな課題がたくさんございますけれども、今ご指摘いただいたとおり、たくさんの方が利便性を持つような形で東海さんとかにもお話ししていきたいと思います。特にあの昨年度やったMaaS（マース）の関係もございまして、あれはweb上のアプリケーションで・・・アプリじゃ無い・・・webの関係でそのまま支払いができるというところになってますので、今後そういう利便性を追求していく中では是非交通事業者の方にご指導させていただく所存ではおりますので、ご理解いただければと思います。

- 議長（渡辺文彦君） 他に質疑ございますか。
- 2番（鈴木茂孝君） 15ページの6款1項2目の商工観光費ですね。緊急経済対策プレミアム商品券についてお聞きします。これ、以前説明があったんですけども、えーと・・・前、この、前買えなかった方は優先的に今回買えて、その後また皆さんで普通に買えるという話ですけども、これですね、あの・・・どのような経緯でそのようになったのかというのを教えてくださいませんか。
- 企画観光課長（深澤準弥君） まず一番最初に言われた、買えなかった方優先という部分につきましては、期間を設けてその方々に優先的に・・・要望があったものですから、不公平感が高いと言うことでお電話いただいた形だったので、商工会としてはちょっと事務量が増えて大変だからというようなこともあったんですが、一応買った方の名簿等をデータとして取ったので、その関係で買ってない方がわかるということで、できるだけ多くの方に買っていただきたいという部分もあったので、まず最初に買いたくても買えなかった方を優先させたいという部分で、今回のような形を取らせていただくことで進めてまいります。
- 2番（鈴木茂孝君） 前回ですね。買えなかった方はって話ですけども、例えば、前回一生懸命並んだ方がいるわけですよ、何時かも前から・・・で、その方たちは、もし今回もれても次買えますよっていうことであれば、そんなに並ばなかったかもしれない。その辺はどう考えているんでしょうか。やはり不公平感があるっていうのは、そちらの並んだ方の人たちからも、あんなに一生懸命並んだのに・・・だったら今落ち着いて買えるんならそれで買ったよ・・・ってというような話もあると思います。それからですね、以前買えなかった方が買えまして、そして今度また新しくまたみなさんが買えるって事ですけども、そのスケジュール感っていうか、そういうものはどのようなになっているか教えてください。
- 企画観光課長（深澤準弥君） 前回並んで買ってもらったっていうのが、最初こう一番公平感があるだろうということで、早い者勝ちと言うことで商工会の方と協議してその形を取らせていただきました。ただやはり並んだときに密であるとかいろいろ・・・前にも全協等でもいろいろ質問・・・ご指摘あったんですけども、長蛇の列ができて・・・というようなこともありまして、自分は列に並ぶのがイヤでコロナが怖いからと言って来なかった方もいらっしゃるということを伺っているものですから、翌

日来たらやっぱりもう売れてなかったとかっていうのもございました。時間をずらしてきた方でやっぱり買えなかったという方もいらっしゃいましたので、そういう方々の方をちょっと優先させていただければということで今回、買いたくても買えなかったかったを期間を設けて対象にしたいというところです。スケジュール感につきましては、一応今回6月の定例会で審議いただいた後、もし通った暁には商工会と調整をしながら、夏のセールが商工会の方であるということですので、それに間に合う形で販売をしたいところで、できるだけ早く動き出したいということで商工会と今協議を詰めているところでございます。

○2番（鈴木茂孝君） もう少し詳しくスケジュール感が聴きたいんですけども、例えば・・・というのはですね、これ9月の末までしか期間が無いんですよ。やはりその辺が遅いと、結局例えば5万円買えるところが期間が1ヵ月しか無ければ、あんなに使えないから2万円にしとこうとか、そういう風になっちゃう訳ですよ。そうすると先ほど課長言われたように、できるだけ多く買って欲しいと、できるだけ町内にお金が回って欲しいっていうことも結局遅れば遅れるほど効果が無くなっちゃう訳ですよ。その辺を考えまして、私は本来であればいっせのせでみなさんと一緒に買った方が、かえって期間が長くていいんじゃないかなと思ってはいるんですけども、そのようにされるということでそのようにということなんですが、やはりその辺の期間をですね、以前買われた方の期間を、どれくらい買えなかった方の期間を、どれくらい購入期間を長くするかっていうところで、一般に買える方の期間が決まってくると思うんですね。その辺はどのくらいの期間を考えてますか。

○企画観光課長（深澤準弥君） 現在商工会と協議している中だと、1週間から10日くらいかなということを考えてます。今おっしゃったとおりできるだけ早く広報して、できるだけ早く販売に移りたいということで、商工会の方も調整をして行く形になっておりますので、本当に9月末という限度の中で使い切って地元にお金落としたということとはみな共通ですので、その方向で今考えてございます。

○2番（鈴木茂孝君） もう一点お願いします。これはですね、17,700冊と伺っておりますけれども、今見込みとかどのくらいの方がもう一回購入しまして、普通に出回る・・・みなさんが買って良いですよ・・・よーいドンというところが、何冊くらい出回るかっていうのを予定しているかってのを教えていただけますか。

○企画観光課長（深澤準弥君）　こちらで見込んでいるところだと、6割ぐらいが最初に来るかなと考えております。残りの4割ぐらいは、また再度購入したいって方になるのではないかと考えております。根拠のなかなか出しにくい所でございますが、一応そういった形で周りのちょっと要求というか、欲しかったよっていう声なんかを確認していると、多くてもそのぐらいかなと思ってます。ただ、あれば買いたいよっていう声は、商工会の方にはより一層出てるという事ですし、商店の方々も大変効果があったということは自覚をされているということで、今回も商工会の会員の方からの切なる要望があって進めている状況でございます。

○議長（渡辺文彦君）　ほかに質疑ございますか。

○5番（深澤 守君）　13ページの清掃総務費、広域ごみ処理施設整備等策定業務の事についてお伺いいたします。この作成業務は、焼却場の本体の部分だけということでよろしいですか。例えばその・・・分別収集の仕方だとか、リサイクル等の周辺の策定はないという認識でよろしいですか。

○生活環境課長（鈴木 悟君）　広域ごみ処理の基本構想のこの構想等の予算の関係でございますが、こちらにつきましては、広域ごみ処理基本構想の策定支援業務と、それから国へ提出します循環型社会形成推進地域計画の策定業務等を含んでるものがございます。基本構想の中では、大まかに言いますと地域の特性、自然条件、社会条件であるとかごみ処理の現状と課題、処理体制、排出量それから資源化量、最低利用量とかですね、そのような・・・大まかにいうとそのようなものが・・・そしてごみ処理技術の現在の動向であるとか広域化の基本方針、将来のごみ量であるとか抑制・発生・・・ごみの発生の抑制、リサイクルの推進にかかる方策等につきまして、作成するのがごみ処理基本構想でございます。それから地域計画につきましては、実質的に国の方に交付金をいただくために、「何年から何年までの間にこのような整備を行っていきます」ということのものを作るものございまして、大まかに言いますと対象地域、計画期間、基本的な方向それから現状と目標ですね・・・一般廃棄物の処理の現状であるとか処理の目標、それから普及啓発・・・ごみを削減してくださいとか・・・そういったものをやりますので、一体的にお金をいただくような形になりますので、ま、焼却施設と、それからリサイクル施設等も含めた中でのとなっております。

○議長（渡辺文彦君）　ほかに質疑ございますか。

- 6番（高柳孝博君） 先ほど6ページのところの7款の公共施設の整備基金から2,000満ほど出されている。整備基金今残高どれくらいでしょうか。それが一つと、14ページの5款の一番最後の所の道の駅花の三聖苑のトイレの改修工事、今まで公共設備いろいろ改修されてきてるんですが、これで一応全部トイレの改修は終わったということで理解してよろしいでしょうか。それともまだあるんでしょうか。その2点。
- 総務課長（高橋良延君） 6ページのところで、2,000万円を公共施設整備基金の繰り入れをしたということで、じゃ残高はどれくらいかということでございますが、今回の2,000万円とあと当初予算で公共施設の整備基金の繰り入れ金をしております。そちらを合わせますと合計が4,620万円を今年度公共施設整備基金で取り崩しをいたす予定です。従いまして、今年度末の基金の残高につきましては、3億5,740万円程の公共施設の整備基金の残高ということになります。
- 議長（渡辺文彦君） ほかに質疑ございますか。
- （○企画観光課長（深澤準弥君） 議長番外・・・。）
- 企画観光課長（深澤準弥君） 三聖苑のトイレの件ですけれども、こちらの方が一番最後・・・観光施設についてですけれども、こちらは道の駅の協会の方からも是非洋式化してくれということで要望があって、施設・・・庁舎とかそういうものを先にやったんですけどもその後に観光施設もということで道の駅でそういう要求があったので載ったものでございます。ほぼほぼこれで、洋式化はすんでいるんですけども、一部和式を残しているところもありますけれども、そこについてはやはり選択の要素を残しているということでございます。
- 議長（渡辺文彦君） ほかに質疑ございますか。
- 2番（鈴木茂孝君） 15ページの6款1項3目観光費の観光振興対策事業のところでございます。私昨日も一般質問でお話ししたんですが、宿泊業に対する一泊3,000円のクーポン券、それから500円の**とを**使える**に使えるクーポン券ですけれども、これはあの町長、あちこち観光業者の方を回って、いろんな方のお話を聞いて出た結論の対策でしょうか。
- 議長（渡辺文彦君） 町長お答えできますか。
- 町長（長嶋精一君） そういうことでございます。そして、プラスそれと・・・まああ

の担当の方からも、そういう強い声もあったし、私の方はまああの・・・やはり松崎町というのは、確かに観光とその飲食というのは今大変な状況にあります。しかしながらやはり、その他の業種、それに付随した業種はあるものですからね。いろいろ公平に配分をしていきたいなという風に考えております。

○2番（鈴木茂孝君） 私も少しながらですね、何人かで**していただきました。雲見の観光協会の会長であったり、豊崎さんにもお話を伺いましたが、やはりいつ来るか分からないクーポン券の換金よりも直接支援金という形でいただいた方が、民宿の方のためには良いよというような話で、ちょっと町長の話とは食い違うんですが、その辺をもう少し加味していただいてこれが一番正しい道なのかと必ずしもそうでは無いじゃないかと、やっぱり疑いながらですね、1泊クーポン券の3,000円を出すより昨日私がちょっと提案させてもらいましたが、地域クーポン券のような商工業者も町の商工業で使えるような・・・要は500円のクーポン券と同じような形で3,000円のクーポン券出せば、帰りにご飯を食べに使ってくれるんじゃないかというようになると思いますけれどもいかがでしょうか。

（○2番（鈴木茂孝君） 町長です。はい。）

○議長（渡辺文彦君） 町長お答えできますか。

（○2番（鈴木茂孝君） 町長お願いします。）

○町長（長嶋精一君） 非常に良いプランだと・・・考えだと思えますけれども、また担当課とあるいはその他といろいろ相談してですね、決めたいなあとという風に思います。

○2番（鈴木茂孝君） 限られた財源ですので、なるべく地元の方に回るように是非お願いしたいと思います。

（○議長（渡辺文彦君） 答弁は良いですね。）

（○2番（鈴木茂孝君） 良いです。はい。）

○議長（渡辺文彦君） 他に質疑ございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

ないようであります。質疑がないようでありますので、質疑を終結したいと思います
が、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（渡辺文彦君） 異議なしと認めます。よって質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

まず、本案に対する反対討論の発言を許します。

（発言する者なし）

○議長（渡辺文彦君） 反対討論なしと認めます。

次に、本案に対する賛成討論の発言を許します。

○3番（小林克己君） 町民はこのコロナ対策事業を待ちに待っていた事と思います。

今回の一般会計補正予算にやはりこのコロナ対策が・・・事業が上っております。しっかりとしたコロナ対策事業が進められていくことを、自分は、あの・・・思っております。それによって、あの・・・町が潤っていくのではないかと感じております。そんなこと思って、この、今回の一般会計補正予算賛成いたします。

○議長（渡辺文彦君） これをもって討論を終了します。

これより、議案第33号 令和3年度松崎町一般会計補正予算（第3号）についての件を挙手により採決します。

本案は、原案のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

（挙手全員）

○議長（渡辺文彦君） 挙手全員であります。

よって本案は原案のとおり可決されました。
